

- 子どもの実態と教育環境
- 保護者や教職員の願い
- 地域社会の願い
- 学校教育の今日的課題

**学校教育目標**  
一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育をめざす

- 憲法・教育基本法の精神
- 学校教育に関わる法令等
- 北海道教育のめざす姿
- オホーツク管内教育推進重点
- 特別支援教育に関する基本方針

★生活する力 ★協力する力 ★はたらく力 ★とりくむ力

**目指す児童生徒像**  
★自分の可能性を信じ挑戦する児童生徒  
★自他を思いやり、相手を尊重する児童生徒  
★健やかな心と体を創る児童生徒



子供たちの未来、そして外側に向けられた  
自由な形の芽吹き

**目指す学校像・教師像**  
★児童生徒にとって学びを深める学校  
★保護者にとって子どもを通わせたい学校  
★地域にとって身近な学校  
★教職員にとって互いを認めあえる学校

目指す資質・能力			
各学部	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
小学部 できることを増やす	日常生活動作の獲得と基本的な生活習慣、表現方法の基礎を身に付ける。	様々なことに興味を持ち、体験や経験を重ねて、自ら表現したり伝えたりする。	学ぶことの楽しさを知り、共に学ぶ友だちを意識して共に活動する楽しさを感じる。
中学部 経験を積み重ねる	健康に生活する力と実生活で役立つ各教科等の知識・技能を身に付ける。	体験や経験から、課題を解決しようと、自ら伝え、行動することができる。	主体的な気持ちを持ち、他者を思いやるなど、友だちと協力して活動する。
高等部 社会とつながる	心身を調和的に保ち、地域で役立つ各教科等の知識・技能を身に付ける。	体験・経験の積み重ねから、目的・場面による状況に応じた言動を考えることができる。	生活をとおして生きがいや楽しみを感じ、社会で働く高い意欲をもつ。



「個別最適な学び」と「協働的な学び」により児童生徒一人一人の「できた」経験を積み重ねることで、  
学習に向かう意欲を高め、何を学んだか明確にできる教育の充実を図る。

**教育方針**

児童生徒の人権を尊重し、一人一人の個性や教育的ニーズに応じ、将来の自立と社会参加に必要な力を育む指導の充実に努める。

- 個別の指導計画と授業との関連を明確にする。
- 「ねらい」を明確にし、何を学ぶかが明確にできる授業づくり。
- できる状況づくりから主体的に学ぼうとする授業改善。
- 言語活動を大切にし、伝え伝わる楽しさを広げる。
- 地域の人材と資源を教材化した学習により学びを深める。
- 学習場面でのねらいに沿ったICT機器の有効な活用。
- 健康安全に気を配り、関係者で情報共有を大切にする。
- 地域、保護者、学校で取組む実践的な防災教育を考える。

**経営方針**

教職員一人一人が協働の意識を高め、学校教育へ参画と教職員間の協力の意識をもち、組織的・計画的な学校運営に努める。

- 児童・生徒の人権尊重。体罰、不適切な指導やいじめを撲滅する
- 特別支援教育としての専門性の向上に努める。
- 保護者や地域に向け、教育活動の情報発信に努める。
- やわらかな心で児童生徒・保護者・職員同僚を受け止める
- 初任者・転入者に対する適切な研修をすすめる。
- 校務の効率化と情報共有及びICTの効果的活用。
- 環境の整備（整理整頓、清掃）節約に心掛ける。
- 教職員の心身の健康維持に気を配り合える。
- 服務規律の遵守、衛生面、身だしなみに注意する

**チーム北支の土台①**  
「児童生徒が主語の学校であること」  
～子どもたちにとっていかにあるべきか～

**チーム北支の土台②**  
「安心・安全な学校であること」  
健康安全・防災安全・服務遵守・心理的安全  
～みんなで気づき合う大切さ～

**チーム北支の土台③**  
「教職員にとって働きやすい学校であること」  
～アサーティブでやわらかい心～